市民のひろば

掲示板

◆びらふマルシェ vol. 13

びらふマルシェは、新たな香北町美良布の魅力となり、多くの方が地域を訪れるきっかけになるよう、集落活動センター美良布で活動する地域住民が企画し、開催をしています。

イベント当日は、可愛いアクセサリーやお弁当、お菓子などの店舗が集まります。また、香北中学校・県内高校の制服の回収・有償提供を行う「制服リユースプロジェクト」も行いますので、ぜひお越しください。

【日時】 3月17日(日)10時～14時

【場所】 健康センターセレネ前広場／集落活動センター美良布 交流スペース

【問い合わせ先】 美良布地区集落活動センター推進協議会事務局 大西

☎52・9708

今月満１～３歳の誕生日を迎えるお子さんを紹介します。

©やなせたかし ゆずぼうや

※㊤は土佐山田町、㊂は香北町、㊎は物部町です。

申し込みは誕生月の前月１日まで 。
問 総務課 ☎53－3112

◆第16回土佐塩の道 30㌔うぉーく募集

『美しい日本の道歩きたくなる道五百選』や『新日本歩く道紀行・文化の道百選』に選ばれた土佐塩の道を歩いてみませんか。

奥物部ふれあいプラザから赤岡海岸までの30㌔コースと、地場産品直販所「あぐりのさと」までの20㌔コースの2コースを選べます。

【開催日】 4月20日（土）

※予備日 4月21日（日）

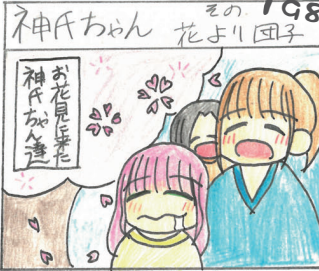
【集合場所】 香南市赤岡保健センター

※受付 6時30分～7時

【参加費】 8,000円（弁当代込み）

【申込締切】 4月5日(金)

【申込先】 有限会社 香北観光トラベル ☎59・3393

【問い合わせ先】 香美市観光協会 ☎52・8560

◆フラダンス教室

4～6月の3カ月、月に2回の教室で1曲完結！ぜひフラダンスを体験してみませんか？初心者も大歓迎です。楽しく運動不足を解消しましょう！

【日時】 4月8日(月)・22日(月) 13時30分～14時30分

※5・6月の開催日は後日決定

【場所】 香美市立中央公民館

【参加費】 全6回で8,000円

【申込み・問い合わせ先】 one（担当 光明） ☎090・9777・9310

◆香美市立やなせたかし記念館 求人情報

【仕事内容】 美術館の受付やミュージアムショップでの接客業務／美術館管理運営全般に関わる業務補助／財団事務の補助 など

【時間】 9時～17時30分（昼休憩45分）

※勤務時間・日数は相談可

【職種】 サービススタッフ 次の①②いずれか
①有期雇用職員
②パート・アルバイト

【給与】
①月給167,100円～
②時給1,050円

【条件】
①高卒以上・普通自動車免許
②不問

その他詳細については、お問い合わせください。

【問い合わせ先】 (公財)やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団 ☎59・2300

（山田高校マンガ部）

新 韮生米と谷相村 香美史探訪記

日本国の経済は、米作りが始まって以来、米＝田で切り盛りされ、田を得るために働いた。江戸時代の武士や村役人などは、「〇〇石〇斗」と米で俸禄（給与）を受けていた。

朴ノ木村の北山上段に谷相村があり、標高は四百㍍ほどあって、室町時代末期に谷相勘解由兵衛（たにあいかげゆべえ）という村侍が発展させたようで、長宗我部地検帳（１５８８年）には、田が六町八反余で下田（げでん）（最下級）とある。元禄年間には二十一町余の良質田となっていたようである。当時、優良米の産地は、岩改・萩野村とも言われていた。韮生郷の年貢米は、馬の背で赤岡の御蔵に運ばれており、寛政年間（１７８９年～）から舟入川を団平舟で高知の御蔵に納めたという。従来から韮生の米は悪米の評価があって、谷相村庄屋に「小法師」の種籾（もみ）が交付されて、お殿様御膳米の栽培が命じられたと伝わっている。村は高台で朝日が早く、西方にお城下を望む開けた土地であることも有利であり、村民を挙げて良質米（吉米）の生産に努めたと考えられる。

谷相村に手を入れたのは、永野村の名主永野源兵衛であるようで、字（あざ）上土居に一町三十五代を領したが、元北面の武士という谷相勘解由兵衛に給地されている。勘解由兵衛の祖は、鎌倉時代初期に谷相に入ったものらしい。元〇〇氏で、土地の名を冠して谷相氏となったのであろう。韮生藤原氏も同時期の入国と考えられる。この勘解由兵衛は有能な者であったようで、長宗我部元親は、鎧一領と給地八十貫で優遇しており、地検帳の検地役人に名を連ねていることで、その信任のほどが察せられるのである。勘解由兵衛は、大坂の陣で盛親の軍に加わり、股部に鉄砲傷を受けて帰ったと言われるので御奉公で応えたのであろう。谷相城址は、集落の高台にあって字土居屋敷という。近年まで人家であったが小竹林となっている。城八幡と地蔵堂が往時をしのばせるだけである。

韮生米の名声は、１７５０年頃に確立されたと考えられるが「窪川の仁井田米、嶺北の相川米、韮生米」の三大米が山内家お殿様の御膳米であった。それより前、韮生郷の庄屋が御役人から叱責されたらしく、庄屋の家で年貢米を厳選したという。黒漆お盆に米を入れ、箸で黒米、白米、割米などを選り出す作業を行い、年貢米が絶賛を受けて面目を施して以降と伝わっている。

（香美市文化財保護審議会　岡村）

ただいま留学中 No.201

傅京（フー・ジン） 中国／河南省

みなさんこんにちは、私はフー・ジンです。現在、高知工科大学で博士号の取得を目指して心理学を勉強しています。

私の出身地である河南省の新郷は、伝統と現代が融合した美しい街です。ビアンジという地元料理が有名で、活気に満ちた街を反映しています。人々は親しみやすい性格で、強い絆で結ばれています。

▶フー・ジンさん（写真左）

私が日本を留学先に選んだ理由は、文化が豊かなだけでなく、高い研究力と技術力があるからです。私の研究分野である心理学も進んでいて、著名な専門家から学び、最先端の施設で一流の教育をうけることができます。

美しい香美市での生活は本当に素晴らしく、私の留学生活に深みを与えてくれています。また、高知で最も楽しかった経験の一つは、高知城から桂浜までのバスツアーです。美しい場所を訪れ、地域の歴史と文化について知ることができました。

人々に温かく迎えていただき、香美市を、まるで第二の故郷のように感じています。